

広報

おいらせ



Special Edition

地域で支える 交通安全

- 02 みんなに教えたいこの人
- 14 まちの話題 Oirase Topics
- 20 犬の登録と狂犬病予防接種
- 27 おいらせが全国に誇れるブランド
- 32 Zoom Up- 頑張るおいらせ人にインタビュー ほか

Public Relations
June
2009
No.52

6

地域で支える交通安全

特集

町は交通死亡事故ゼロ記録を1300日以上に伸ばしている。でも実際には、死に至らないだけで交通事故は減っていないのだ。自分の命を守るために、自分でできることは何か。地域の宝である子どもを守るため、地域の大人にできることは何か。安全、安心なまちづくりのために、地域の支えが大きな力になる。



木内々小学校の交通安全教室は4月9日に開かれた。高学年の児童は自転車の正しい乗り方を学んだ。児童の様子を見守る川村吉治おいらせ交番所長

広報 おいらせ

6 Oirase Town Public Relations
June 2009 No.52

CONTENTS 目次

- 02 みんなに教えたくなるこの人
川口秀男さん
- 03 <特集> 地域で支える交通安全
- 14 まちの話題 Oirase Topics
消防団中継送水訓練、奥入瀬川クリーン運動ほか
- 16 自治基本条例
- 20 生涯学習情報
- 26 Monthly Oirase Information
三沢地区消防団連合観閲式、児童手当の現況届け、町営霊園現地説明会、町有財産の売却ほか
- 29 戸籍の窓
- 32 Zoom up
- 36 家族のきずな
柴田琉登君・風花さん・定男さん（秋堂）



●表紙の写真
小中学校の交通安全指導は春に一堂に行われる。写真は4月14日の甲洋小学校交通安全教室。全校児童は通学路を歩き、安全確認する。左から田中愛子教諭、二川目直輝君（6年）、太田佳汰君（6年）

みんなに 教えたくなる この人

WIRASE FRONT PAGE Kawaguchi Hideo FILE 3

37年にわたる交通安全指導 若手の育成に力を注ぎたい



川口秀男さん

交通栄誉章緑十字銀章を受章した

かわぐち・ひでお
三沢地区交通指導隊長、町交通指導隊東地区隊長。1938年おいらせ町一川目生まれ。八戸通運（株）に勤める傍ら、72年に三沢地区交通指導隊に入隊。現在まで37年間交通安全の推進にかかわる。妻、長男夫婦との4人暮らし。おいらせ町一川目在住、70歳

心地よい潮風の吹く一川目地区で、長い間交通安全指導に力を注ぐ川口秀男さん（七〇）。このほど警察庁から交通栄誉章緑十字銀章を受章した。この賞は積極的な地域貢献、過去二十年間、自己の責任による交通事故歴がないなど、厳しい基準を満たさなければ該当しない。おいらせ町で七人目の快挙だ。

川口さんは「これまでお世話になってきた先輩や関係者の皆さんのおかげです」と受章の喜びを語る。一九七二年に三沢地区交通指導隊、二〇〇一年には三沢地区交通指導隊長に任命され、交通安全の推進に力を注いできた。

交通指導隊にかかわるようになったのは、平宮次さん（故人）との出会いがきっかけだった。当時、百石町交通指導隊長だった平さんから、入隊を強く勧められたからだ。「平隊長は人

格的にも素晴らしい人でした。わたしはたくさんの方を教えるつもりになりました。今でも平さんのようになりたいと、人生の目標にしています」と当時を懐かしむ。

七十歳を迎えた現在でも、交通指導隊員として忙しい日々を送る川口さん。事故が発生した時には、進んで交通整理を行い、警察を力強くサポートする。

川口さんは、子どもや高齢者が交通事故に遭わないためのポイントを次のように話す。

「交通事故は、ドライバーにも通行者にも原因があるものです。通行者の皆さんは、夜間は明るい服を着てほしいと思います。普段から危険な場所を確認しておくことも大切です」

今後は若手の育成に力を注ぎたいという川口さん。交通安全への熱い思いを胸に、確固たる決意で前を見た。

Interview



おいらせ町交通安全協会
小西博 会長
Konishi Hiroshi

交通事故に遭わないためには、自分自身で命を守る姿勢が大切です。左右を見る、横断歩道を渡るなど、当たり前のことを普段からきちんとできるようにしておく必要があります。



おいらせ町交通安全母の会
嶋田政子 会長
Shimada Masako

おいらせ町は以前と比べて、車の交通量がとても多くなったと感じています。子どもや高齢者の事故を起こさないように、交通安全母の会は少しでも力になりたいと思います。



関係団体の連携で安全運転を呼びかける

01_交通安全横断幕張り替え作業は4月5日に行われた。交通安全協会役員、交通指導隊隊員が参加し、町内の横断幕や交通安全旗を設置し直した。02_春の交通死亡事故ゼロPR活動は4月10日に行われ、安全運転を呼びかけた。ドライバーに安全運転啓発のチラシを配布する吉田香須美さん（写真右）



門上町交通指導隊西地区隊長（写真右）をはじめとする町交通指導隊員。町の交通安全を支えるエキスパートだ

交通安全のエキスパート

交通安全協会、交通指導隊、交通安全母の会一。町には交通安全を支える団体がある。交通事故を少しでも減らそうと、日々啓発活動を展開している。ボランティアとしてかかわる彼らは、交通安全のエキスパートでもある。

交通安全を支える人々 スクラムを組んで啓発活動

四月十日、交通量の多い国道45号沿いのおいらせ交番前交差点。この日は朝から、町の交通安全協会、交通指導隊、交通安全母の会のメンバーが集まり、「春の交通死亡事故ゼロPR活動」を展開していた。町交通安全協会役員は道路に横断幕を広げ、ドライバーへ安全運転を呼びかける。交通指導隊隊員と交通安全母の会会員は、車を止めて、ドライバーに安全運転を呼びかける。そして啓発用のチラシを丁寧に手渡す。それを受け取ったドライバーは、母の会会員の呼びかけに笑顔で応じる。

一つの事故も出したくない それは夢も希望も奪うものだから

町交通指導隊西地区隊長の門上實さん（六） 向山は「わたしたちは町から一つの交通事故も出たくなないと、いつも思っています。交

優しく、時には厳しく 地域・学校・家族で守ろう

町交通安全協会副会長を務める小西博さん（七） 阿光坊は、交通事故に遭わないためには、歩行者の意識も大切だと話す。

「交通事故は、車を運転する人だけが気を付ければよいというものではないと思います。歩行者自身が、自分自身を守るという姿勢がなければならぬと感じています」

小西さんは、学校で開かれる交通安全教室にも積極的に参加する。そして子どもたちを、優しく、時には厳しく見守る。子どもたちに「ちゃんと左右を見なさい」「車が来たよ」と声をかける。

「子どものころからの習慣付けが大切です。地域や学校、そして家族が一丸となって、子どもたちを守りましょう」と小西さんは訴えた。

交通事故で失ってしまうものは、命だけではありません。夢も希望も、すべてを奪い去られる可能性だってあるのです」と話す。

門上さんは昭和四十七年に交通指導隊へ入隊した。そしてこれまでいくつもの交通事故を目にしてきた。そのたびに悲しい思い、悔しい思いを垣間見てきたという。交通事故で命をなくせば、周りの家族や仲間たちの悲しみは、言葉では語りつくせないほどのものになるだろう。そんな悲しい思いをさせまいと、交通指導隊は打ち合わせを重ね、町のイベントや交通安全運動などの活動を積極的に展開する。

門上さんは「交通事故を少しでも減らしたい。それが隊員みんなの願いです。これからも一丸となって、啓発活動に全力を注いでいきます」と気を引き締めた。

いのちを守る

01 教師たちの願い

子どもたちにとって学校は身近な場所。しかし登下校時は常に危険が伴うもの。子どもたちを絶対に事故に遭わせない—教師たちの強い願いと責任感は、今日も子どもたちの笑顔を支えている。



国道 338 号に隣接する甲洋小学校。大型車両も数多く通る

と指摘する。時には砂煙が舞うほど激しい急ブレーキで自転車を止めてみせる。その迫力あふれる模範指導に、「先生危ないよ」とみんなが声を上げる。
こうしていくつかの悪い乗り方を児童に示したあと、杉山教諭は「自転車は左のブレーキから先にかけてるんだよ」と教える。勢いよく走っている自転車は、右ブレーキ、つまり前輪を先に止めてしまうと、勢いのあまり前方から転んでしまう可能性がある。そうならないために、自転車は左のブレーキから先にかけてることが望ましいのだ。

「子どもたちには、自転車が本当に危ないものだというを知って」
この日の模範指導のために、自宅で何度もシミュレーションを行ってきたという杉山教諭。その意図をこう語る。

「子どもたちには、自転車が本当に危ないものだと知って」
この日の模範指導のために、自宅で何度もシミュレーションを行ってきたという杉山教諭。その意図をこう語る。
交通安全教室の運営は、たくさんの教職員が協力しながら行っている。事前の打ち合わせやシミュレーションなどを重ね、交通安全教室の企画を練り続けてきた。
中でも担当者として中心的な役割を担った村山あゆみ教諭は、「ここ数年、子どもたちが事故に遭うことはなくなっています。本当にうれしいことです」と目を細める。
五年ほど前には、国道338号に飛び出した甲洋小学校の児童が車と接触する事故が起こっている。この事故を契機に、甲洋小学校は交通安全教室にいつそう力を入れるようになる。全校児童で班編成を組みなが

INTERVIEW

甲洋小学校1年
井川樹奈さん
Igawa Juna

4月から小学校に通っています。道路を渡る時には、ちゃんと信号を見らるようになす。信号が光ったときは、絶対に道路を渡らなす。



甲洋小学校4年
西館力輝君
Nishidate Riki

部活や友達の家に行くときは、必ず信号を確認するようにします。自転車に乗っているときにも、必ず前後左右に車や人がいないことを確認してから発進するようにします。



らに通学指導や、ダミー人形を使った衝突事故実験などを積極的に進めた。車にはねられ、数メートルも宙に舞うダミー人形の姿に、児童は事故の恐ろしさを実感したという。しかし度重なる実験のために、ダミー人形は使用不可能になるほどに壊れてしまった。村山教諭は「子どもたちに『ダミオ君』と呼ばれる人気者でした」と残念そうに話す。

交通安全教室のほか、毎日の学級指導でも交通安全の大切さを児童に伝えている。授業が終わる下校の時間になると、児童は「交通安全のスロウガン」をみんなで唱和する。▽飛び出しません▽寄り道しません▽児童の大きな声は、放課後の校舎に毎日響き渡る。
学校の教師は、子どもたちの命を守り、育てていく大切な役割を担う。



自転車の乗り方を指導する杉山義和教諭を、甲洋小学校児童は真剣な表情で見つめる

危険性を感じてほしい
教師の迫力あふれる模範指導

甲洋小学校（荒谷国入校長、児童百六十六人）は四月十四日、春の交通安全教室を開いた。校庭に集まった児童や教師は、真剣な表情で川村おいらせ交番所長の講話に耳を傾けている。子どもたちはこの講話のほか、▽自転車の正しい乗り方▽信号の正しい横断方法を学ぶ。

甲洋小学校は国道338号に隣接する。この道路は国道としては比較的道幅が狭いにもかかわらず、大型車が多く通る危険な道路だ。
児童は校門を出ると、すぐに国道338号の歩道を歩き出した。高学年は低学年の小さな児童の手をしっかりと握っている。時折通る大型ダンプは、激しい揺れを地面に残し、猛スピードで走り去っていく。新しく入学した一年生たちは、大きな揺れに怖さを感じているようだ。

そんな低学年の児童の手を引きながら、四年生の西館力輝君は「ちゃんと歩道を歩けば大丈夫だよ」と優しく声をかける。こうして往復二キロほどの距離を、ゆっくりと時間をかけて歩いていく。

無事に学校に戻ってくると、児童は自転車の正しい乗り方を学ぶ。杉山義和教諭はわざと蛇行運転したり、ヘルメットのひもを締めなかつたりしながら自転車を運転する。児童はその様子を見て、「先生、ちゃんとヘルメットがぶらなきや」など

甲洋小学校
村山あゆみ教諭
Murayama Ayumi

交通安全教室担当責任者として、大きな責任を感じながら運営にあたりました。子どもたちに交通安全の大切さを伝えていくことが、教師として伝えないといけないと思っています。



「子どもたちを絶対に事故に遭わせない」—教師たちの強い願いに支えられながら、児童は今日も元気に、笑顔で過ごしている。

村山教諭は「何年も事故なく過ごせるのは、日々の積み重ねのおかげだと思います。教師として、これからは交通安全の大切さを子どもたちに伝えていかなければなりません」と、責任の重さをかみ締めた。

自転車の運転を再確認

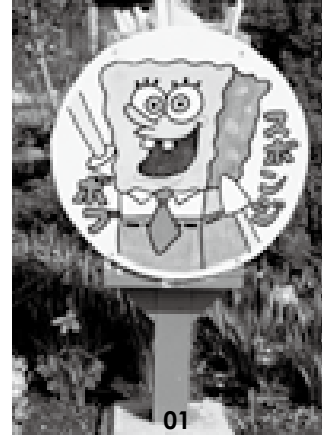
- 発進前は前後左右を確認する
- ヘルメットはきちんとかぶる
- 急ブレーキ、急発進、急ハンドルはしない
- 自転車は左側を走る
- 無理なスピードは出さない
- 二列運転はしない
- 夜間自転車を運転するときにはライトをつける
- 二人乗りはしない
- 自転車のブレーキは左（後輪）、右（前輪）の順番にかける

©小学校交通安全教室から



子どもたちの道路横断を優しく見守る中村栄子隊員。間木パトロール隊の見守りは、雨の日も風の日も、毎日欠かさず行われる

01_ 間木町内に立てられている旗入れ兼用の看板。間木子ども会の子どもたちが、毎年自分たちの手で絵を描く手づくり看板だ 02_ パトロール隊の学習会は4月17日に開かれた。パトロール隊員だけでなく、子ども会や町内会、PTAなどの会員が参加し、地域ぐるみで交通安全や防犯の理解を深めた



- Report - いのちを守る

02 黄色い旗

子どもたちを見守る黄色い旗一。子どもたちの安全を守る、頼りになる旗だ。間木パトロール隊の見守りは、雨の日も風の日も欠かさず続けられる。毎日の継続が子どもたちの安全を支える。



いつも安心です 柏崎温斗くん

Kashiwazaki Haruto
(芦野、木内々小1年)

毎朝パトロール隊の見守りがあるので、安心して子どもを学校に送り出せます(母、みつ美さん)



隊の結成を提案した 中村喜義さん

Nakamura Kiyoshi
(間木、57)

地域の宝である子どもたちを事故から守りたいという思いで、パトロール隊結成を強く提案しました

自己負担で組織を結成 間木パトロール隊の挑戦



03_ 春まつりの出店で「安全安心おでん」を売る隊員たち。町のイベントを盛り上げながら、売り上げを活動資金にあてている 04_ おおぞら保育園の交通安全教室は5月1日に開かれた。隊員は講師として、園児に安全な道路の横断方法を教える。左から袴田和子副隊長、袴田ひで子副隊長

役場本庁舎の東側にある間木地区は、踏切の近くに交差点がある危険な場所だ。木内々小学校や下田中学校に通学するたくさん子どもたちが通る。この場所で毎朝、黄色い旗を手にして子どもたちの通学を見守っているのが、間木パトロール隊だ。結成から三年目を迎える。毎朝数人の隊員が当番制で、雨の日も風の日も、毎日のように子どもたちを見守る。隊長を務める榎山忠さん(六五)は、「子どもたちには絶対に交通事故に遭ってほしくないのです。わたしたちの見守りで交通事故を防ぐことができるなら、

本当にうれしいことです」とほほ笑む。

間木パトロール隊は、町内会組織でも町から頼まれた組織でもない。地域の有志が自主的に、地域の子どもの安全を守りたいと考え結成された組織だ。そのため、パトロール隊の運営に必要な経費は、隊員の自己負担で賄われている。自費を負担してまでパトロール隊を結成する思い。結成に至るまでどのような経緯があったのだろうか。

毎日続けることが大切だ 子どもたちを守るための結束

副隊長の袴田ひで子さん(五八)は、パトロール隊の見守りが行われる前の状態を「毎朝

同時に、町の防犯担当者や交通安全担当者との打ち合わせ、警察や小学校など関係機関との連絡調整を積極的に進めた。地域の子ども会やPTAとも話し合いをし、十分に相互理解を図った。間木地区にある旗入れ看板には、二年ごとにかわいらしい絵が子ども会会員の手で描かれるようになった。

「子どもたちを守るためには、毎日活動を続けることが大切だ」と話す中村さん。言葉通り、この三年間、間木パトロール隊の活動は毎日続いている。

できる範囲でできることを それがわたしたちの世代の役目

子どもたちは交通事故に遭うこともなく、元気に学校へ通っている。最初はあいさつを恥ずかしながらしていた子どもたちも、今では元気に「おはようございます」とあいさつを交わす。榎山隊長は「みんなが顔見知りになれば、自然とあいさつを

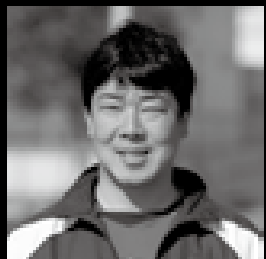
▼ほかの小学校区での見守り



百石小学区で毎朝見守りを続ける

小向光洋さん

こむかい・みつひろ



木ノ下小でPTAと一緒に見守る

江渡勇 教諭

えと・いさむ



04

- Report -

いのちを守る

03 マップ制作

路上の危険箇所をチェック 子どもたちの手づくりマップ

五月九日午前九時半、木ノ下児童館。たくさんの子どもや大人が集まっている。木ノ下児童館恒例の環境整備作業だ。朝早くから保護者は汗を流しながら、児童館の庭を整備したり、屋根を点検したりしている。児童館の運営は職員だけでなく、保護者や地域の人の支えが不可欠だ。木ノ下児童館でも、保護者は「野ばらクラブ」を組織し、整備作業やイベント運営に積極的に関わっている。

本年の環境整備作業は、▽児童館の庭などをきれいに整備する「環境整備班」▽児童館の外に出でごみを拾う「環境クリーン班」

普段子どもたちが通学する道路には、危険な場所がたくさんある。それがどこにあるかを知ること、自分たちの命を守ることにつながる。木ノ下児童館のマップ制作は、子どもたちの忘れられない記憶だ。

—の二つの班に分かれて行った。環境クリーン班の役目は、ただごみを拾うばかりではない。子どもたちは実際に外を歩き、交通安全上危険な場所をチェックし、交通安全マップをつくる。普段何気なく歩いている道路だが、きちんとチェックしながら歩くことで、これまで気付かなかったところが見えてくる。子どもたちの目線で見つめていけば、大人には感じられないものも見えてくる。

木ノ下児童館を利用する子どもたちは、二、三ほど離れた木ノ下小学校から毎日のように歩いてくる。人口増加の著しい地域であるため、交通量は多く、用水路があるなど危険箇所は多い。

子どもたちのマップ制作を、児童館の加藤英子館長はこう語る。「子どもたちが普段何気なく歩いている道路も、マップにすることで、危険箇所が客観的に見えてきます。マップをつくる体験は、子どもたちの記憶に残ります」

**危ないところは忘れないよ
体験することで記憶に残る**

この日は十七人の子どもたちが、マップ制作の調査のために道路を歩いた。気を付けて歩いてみると、歩道の狭いところ、見通しの悪い交差点、道の段差など、危険な場所があることに自然と気付いてくる。

子どもたちは仲間と話し合いながら、危険箇所を見つける。そしてどのような危険があるのか、具体的に紙に書き込んでいく。

この日記録係を担当した土橋有紗さん（木ノ下小四年）は「ここは歩道が狭くて、車が来ると危ないね。ちゃんと一列で歩かないとだめだよ」と、低学年の子どもに優しく語りかける。

子どもたちは危険箇所だけでなく、「こども女性110番の家」のプレートがある場所もチェックする。これは子どもや女性が身の危険を感じたときに、安全を確保するために逃げ込むことができる場所に設置されているものだ。あらかじめチェックしておくことで、万一の事態が起こったときにも対処できる。

調査は一時間半ほど終了。子どもたちは児童館へ戻り、自分たちで調べた危険箇所を話し合う。具体的にどのような危険があるのかを、それぞれカードに書いてマップに貼り付けていく。子どもたちは「ここは歩道が狭くて、冬は雪が積もって歩けなくなるから危ないね」「見通しの悪い交差点は、きちんと止まって車が来ないか確認してから渡ろう」などと、仲間同士で発表し合う。マップをつくりあげることで、子どもたちの理解は深まっていく。

交通事故に遭わないためには、自分たちで身を守ることが大切だ。危険箇所をきちんと知っておくことは、初めの一歩といえる。

マップ制作を終えて数日後、江刺家匠くん（木ノ下小三年）は「みんなまで調べたところ、まだ覚えていないよ。危ないところは絶対に忘れないで、気を付けているよ」と話してくれた。自分たち自身で体験したことは、子どもたちの忘れられない記憶になる。



木ノ下児童館の子どもたちは、自分たちで実際に確かめた危険箇所をマップにした

01_「こども女性110番」の看板を確認する。左から小栗綾乃さん、久保田菜月さん 02_危険箇所をマップに書き込む土橋有紗さん。歩道が狭くなっているところ、見通しの悪い交差点などをチェックした 03_マップを指して調査結果を発表する江刺家匠くん



取材を終えて

おいらせ町で今も続いている交通死亡事故ゼロの記録は、すでに1300日以上続いている。その裏で、実際に発生している事故は減っていないことを知って驚いた。

交通事故は車を運転する側にとっても、歩行者側にとっても、これからの将来を大きく揺るがすような、悲しい結末を招いてしまう。そんなことにならないよう、細心の注意を払っていかねばならないと強く感じた。

交通安全を支える関係団体や学校、地域のボランティアの活動は、悲しい交通事故を起こしたくないという強い願いの表れだった。綿密にシミュレーションして交通安全教室を企画する教師たち、自費を払ってでも組織を立ち上げた間木パトロール隊の情熱一話を聞くだけで、子どもたちへの思いが伝わってくる。

交通事故は自分だけでなく、周りの家族や友人たちまで悲しくつらい思いにさせる。そうならないよう、そうさせないよう、地域のみなが今日も活動を続けている。交通事故を起こさないためにはまず「一人ひとりの意識」が大切。その気持ちを醸成するためにも、地域や学校、行政が手をかり合って、注意を促していくことが重要だ。

特集●地域で支える交通安全 終わり

特集の意見や感想を寄せてください

- おいらせ町企画課
Tel 0178-56-4701
- ホームページ・町民の声
http://www.town.oirase.aomori.jp

白球に強い気持ちを込めて こどもの日全国少年野球教室



「CALPIS & ダイワハウスこどもの日全国少年野球教室」は5月5日、下田公園野球場で開かれ、町内外から7つの野球チームが参加しました。講師はプロ野球OBの徳武定祐さん(元中日)、吉井晃さん(元横浜)、川俣浩明さん(元ロッテ)、柿崎幸男さん(元日本ハム)、駒崎幸一さん(元西武)の5人。プロの丁寧で気合のこもった指導に、子どもたちは目を輝かせながら話を聞きました。内沢航大君(木内々小6年)は、「球に強い気持ちを込めて投げることを教わりました。これからのピッチングに生かしたいです」と話していました。

◀子どもたちにピッチングフォームを指導する川俣さん(写真左)

行政相談活動の継続を評価 松林裕子さんへ感謝状が贈呈される



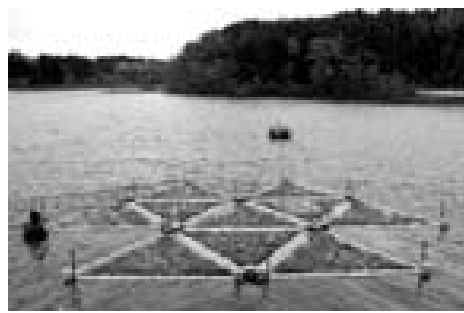
松林裕子さん=根岸=は5月7日、総務大臣による行政相談員感謝状を、青森行政評価事務所長から贈呈されました。平成20年3月まで、14年間にわたり行政相談員として続けてきた活動が評価されたものです。

松林さんは「大変光栄なことです。これまで続けることができたのは、たくさんの方が支えてくれたおかげです」と喜びを語りました。

なお、松林さんの後任には中村廣美さん=一川目=があたり、5月から行政相談員としての活動を行っています。

◀感謝状を手に喜びを語った松林裕子さん(写真中央)

間木堤の植生回復への試み 人工浮島を設置



町は5月13日から14日の両日、間木堤に人工浮島を設置しました。これは、一辺3メートルの正三角形の枠組み(ステンレス鋼管製)を10基組み立て、マコモを植えつけた天然繊維の植生パレットを配置したものです。浮島は野鳥の餌場や休憩場所としての効果はもちろん、水質浄化につながるものと期待されています。

設置工事に立ち会った町白鳥保護監視員の蛭名幸政さん=間木=は「人工浮島の効果を追跡調査していきたい。来年の白鳥飛来が楽しみ」と話していました。

◀間木堤に設置される人工浮島

ハッスルプレーで健康増進 町パークゴルフ協会が発足



町パークゴルフ協会(鈴木泰文会長)は、このほど設立総会を開き、会を発足させました。この会はパークゴルフを通じて、交流の楽しさや健康の増進を目的に発足したものです。

5月14日には会発足後初めての活動をカワヨ牧場で開催。プレーするのは初めてという高橋ツエさん=苗振谷地=は「楽しんでプレーできました。でもなかなか思ったところに球を飛ばすのは難しいですね」と話していました。

◀狙いを定めてショットを放つ高橋ツエさん(写真左)

火災に備え訓練を実施 消防団中継送水訓練



「消防団中継送水訓練」は4月12日、しもだサーモンパークで行われました。

参加した190人あまりの団員は、日ごろの訓練の成果をぞんぶんに発揮。吸水、中継、放水それぞれの役割を見事にこなしていました。

山林や家を一瞬にして焼き尽くしてしまう火事は、ほんとうに恐ろしいものです。万一の事態に素早く対処するためにも、このような地道な訓練は不可欠です。

◀真剣な表情で放水訓練を行う消防団員

空高く舞う凧に防火を願う 幼年消防クラブ凧揚げ大会



「幼年消防クラブ凧揚げ大会」は4月13日、しもだサーモンパークで行われました。

春のさわやかな晴天に恵まれた当日は、町内14施設からたくさんのお客が参加。子どもたちは手づくりの凧を空高く揚げながら、楽しそうに会場を走り回りました。

凧揚げのあと、園児は放水訓練を体験。八戸北消防署員の丁寧な指導を受けながら、子どもたちは的に向けて勢いよく放水していました。

◀満面の笑顔で凧揚げを楽しむ園児たち

地域力で美しいまちづくり 奥入瀬川クリーン運動



「奥入瀬川クリーン運動」は4月19日、奥入瀬川流域で行われました。

しもだサーモンパーク会場では、雪解けと共に川沿いにたくさんのごみが姿を現していました。ビニール袋を手にした参加者は、奥入瀬川沿いのごみを丁寧に拾い上げていました。

奥入瀬川は、わたしたちの世代が将来の子どもたちへ引き継いでいかなければならない、貴重な財産です。地域の力を合わせてきれいにしていきたいと思います。

◀ごみのないきれいなまちづくりには、地域の力は欠かせない

一瞬の勝負にすべてをかける 子どもスポーツチャンバラ大会



「第3回子どもスポーツチャンバラ大会」は4月25日、いちょう公園体育館で開かれ、参加したおよそ40人の子どもたちが勝敗を競いました。

スポーツチャンバラは空気の入った柔らかいスポンジ製の刀を使い、相手の体を打つゲームです。

山本泰成君(3つ)=間木=は、「チャンバラをしたのは初めてです。相手に頭をたたかれたけど、1回勝てたのでうれしいです」と、お母さんと一緒に笑顔で話してくれました。

◀真剣な表情で刀を振り下ろす山本泰成くん

積み重ねた協議結果を報告

住民自治組織検討委員会 中間報告

まちづくりを担う住民組織を検討する住民自治組織検討委員会（柏崎利信委員長）は3月16日、町へ中間報告を行いました。

自立した町を誇りを持って将来に引き継ぐため、▷地区組織▷地域と行政の役割▷団体同士の各種団体の参画▷新町一体感の醸成—などを提言書（中間報告）に盛り込んでいます。

柏崎委員長は「これからが本番。これからも話し合いを続け、おいらせ町の自治の力を高めたい」と語っていました。



▲町長に中間報告を手渡す柏崎利信委員長と藤ヶ森和子副委員長

来月号は「第6章／まちづくりの基本原則」を紹介します。

■意見や感想を寄せてください
企画課 ☎ 0178-56-4701



子どもに自信を持って引き継げるまちをつくりたい
袴田隆博さん（31） 千花子さん（25） 凌正ちゃん（5カ月） =間木=

シリーズ
5

自治基本条例

誰もが幸せを実感できるまちづくりは、町民、議会、行政が手を取り合って、同じ目標に向かって進まなければなりません。そのためには三者の役割と責任が大切です。今月は、その役割と責任を紹介します。

第3章 町民の役割と責任

- 自立・自律
- 議会と行政との協働
- まちづくりへの参加
- 互いの権利を守る
- ふるさとと地域を守る

おいらせの

自治

はそれぞれの役割と責任を伴いながら、協働のもとに町民の幸せを目指します

第4章 行政の役割と責任

- 町民の権利を守る
- 公正・誠実
- 町民参加の保証
- 健全な財政運営
- 職員の資質の向上
- 総合的な職務遂行
- 迅速な苦情相談対応
- 情報公開と説明責任
- 危機管理

第5章 議会の役割と責任

- 行政運営の監視
- 政策形成
- 町民の意思を尊重
- 効率的な運営
- 開かれた運営
- 公正・誠実
- 自らの資質の向上

第三章 町民の役割と責任

（自立と自律）

第八条 おいらせ町民は、まちづくりの主体として、自立の精神に則り、自己責任意識と危機管理意識を持ち、自ら解決できる問題は自ら解決しなければなりません。

二 町民は、自律の精神に則り、自らの発言と行動に責任を持たなければなりません。

（まちづくりへの参加）

第九条 おいらせ町民には、地域活動、公益活動、ボランティア活動などの自主的な活動により、暮らしやすい地域社会をつくる役割があります。

（町民、行政及び議会との協働）

第十条 おいらせ町民には、行政と議会について学び、理解することにより、暮らしやすい地域社会をつくる役割があります。

二 町民には、町民同士、行政及び議会と協働でまちをつくる役割があります。

（互いの権利を守る責任）

第十一条 おいらせ町民は、互いに協力して子どもを守り育て、障がい者、お年寄りなど手助けを必要とする町民は、町民同士、行政及び議会と協働でまちをつくる役割があります。

二 町民には、町民同士、行政及び議会と協働でまちをつくる役割があります。

（互いの権利を守る責任）

第十二条 おいらせ町民は、ふるさとと地球を守る責任をもち、自ら解決できる問題は自ら解決しなければなりません。

二 町民は、水や空気の汚染を防ぎ、エネルギーの浪費を抑え、資源を節約して美しい地球を次代に引き継ぐために努力しなければなりません。

（ふるさとと地球を守る責任）

第十三条 おいらせ町民は、町の代表者として、町民の権利を守り、この条例の理念を実現するため、公正かつ誠実に職務にあたらなければならない。

二 おいらせ町職員は、町民のために働く者として町長等を補助し、町民の権利を守り、この条例の理念を実現するため、公正かつ誠実に職務にあたらなければならない。

（行政の執行）

第十四条 おいらせ町長及び町職員は、町民のために働く者として、健全な財政運営のため、効率的な予算編成と、開かれた予算執行を行わなければならない。

二 町長等及び町職員は、職務への創意工夫、学習により自らの資質を向上させるよう努力しなければならない。

三 町長等及び町職員は、行政内部で情報を共有し、総合的に職務にあたらなければならない。

（町民との関係）

第十五条 おいらせ町長等及び町職員は、町民と同じ目線に立って総合的に職務にあたらなければならない。

（苦情・相談への対応）

第十六条 行政は、町民から苦情や相談を受けたときは、これを尊重し、速やかにかつ誠実に対処しなければならない。

（情報公開と説明責任）

第十七条 行政は、町の行政に関する事柄について、情報の公開と提供に努めるとともに、町民にわかりやすく説明しなければならない。

（危機管理）

第十八条 行政は、町民の生命及び財産を守るため、町民の幸福を実現するために努力しなければならない。

（ふるさとと地球を守る責任）

第十九条 おいらせ町職員は、町の代表者として、町民の権利を守り、この条例の理念を実現するため、公正かつ誠実に職務にあたらなければならない。

二 おいらせ町職員は、町民のために働く者として町長等を補助し、町民の権利を守り、この条例の理念を実現するため、公正かつ誠実に職務にあたらなければならない。

（議会の責任）

第二十条 おいらせ町議会には、健全な予算執行により、効率的な運営を行わなければならない。

二 議会は、その活動を町民に公開し、開かれた運営を進めなければならない。

（議員の責任）

第二十一条 おいらせ町議会議員は、全町民の代表として公正かつ誠実に職務にあたらなければならない。

二 議員は、職務に関する調査、研究及び学習により自らの資質を向上させなければならない。

【原文のまま掲載】

おいらせの目指す自治とは—専門家があるあり方を語る

執筆

三つの「アイ」で自治力を高める

首都大学東京 教授

大杉 覚
Oosugi Satoru



PROFILE

おおすぎ・さとる 1964年神奈川県横浜市生まれ。東京大学教養学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科終了、博士取得。2005年、首都大学東京教授に就任。専門は社会科学、政治学。全国で住民自治の検討を積極的に行う。おいらせ町でも自治に関するフォーラムや研修会の講師としてかかわっている。東京都在住、45歳。

より幸せに、豊かになるために

昨年来訪問するたびに、おいらせ町の自治の着実な成長ぶりを目にしてきました。自治とは「人々がより幸せに、地域がより豊かになるための不断の試み」です。自治基本条例が施行された現在、さらなる地域の自治力をステップアップするためのヒントとして「愛」ならぬ、三つの「アイ（I）」を示しておきたいと思えます。

みんながまちづくりの担い手

まず「巻き込む（＝Involve）」「インボルブメント」です。わたしたち誰もが二十四時間フルタイムで自治への参加をこなすわけにはいきません。仕事もあれば、家族と過ごすなど個人の時間も必要でしょう。限られたほんのわずかな時間を、参加に費やしてもよ

いと思えるためには、自分もかけがえない、まちづくりの担い手なんだと思わせる—つまり当事者意識を持てるような仕掛けが必要です。

例えば、まちづくりを通じた地域全体の目標と共に、参加する一人ひとりの目標や希望を確認し合っているでしょうか。そのような目標や希望に見合った役割分担をしてみることも、参加をためらいがちなる人の背中を、そっと押すことになるでしょう。

掘り下げて考えてみよう

二つ目は「情報を共有する（＝Intelligence インテリジェンス）」です。ここでいう「情報」は「インフォメーション」ではなく、あえて「知」を意味する「インテリジェンス」を使っています。単なるお仕着せのお知らせで満足せ

ず、自分なりに咀嚼し、新たな価値を吹き込んだ「知」を共有し合うことが大切だからです。

例えば、よく「少子高齢社会」といいます。確かに子どもが少なくなっているし、お年寄りが増えているかも知れません。では若者はどうしているのか。少数精鋭の若者がもつ力を発揮している地域にすれば、「少子高齢社会」も怖くないじゃないか。こうした逆転の発想をしてみてもいいはず。紋切り型の言葉をそのまま受け止めてしまうのではなく、一歩掘り下げて考えることが肝心です。

仲間と共に分かち合おう

三つ目は「実感する（＝Impact インパクト）」です。「インパクト」の訳語ではない「実感する」を組み合わせているのがみそです。自

治やまちづくりの参加にインパクトが重要だというと、「派手な演出や奇抜な取り組みをしなければならぬのか」と勘違いされるかもしれません。でも決してそうではありません。

私は「実感」には三つのものがあると考えます。▽ある目標を成し遂げたという「達成感」▽達成したことに喜びや満足を感じる「充実感」▽独り善がりにならないために、達成感や充実感を共に仲間と分かち合う「共感」です。「達成感」、「充実感」、「共感」を実感できること。それこそインパクトがあることなのであって、決して奇をてらう必要はないのです。

以上、三つの「アイ（I）」に加えて、地域への「愛」を降り注ぎ、必ずや自治力アップとなるでしょう。おいらせ発自治創造の新局面を期待しています。



Keyword ▶▶▶ ●小選挙区選挙（青森県第2選挙区）／全都道府県を300の選挙区に分割し、各選挙区から最多得票者1人を選出します ●比例代表選挙（東北ブロック／政党などがあらかじめ当選人になるべき順位を記載した名簿を届け出、得票率に応じて議席を配分します。都道府県を単位に、全国を11選挙区（ブロック）に分割し、定数180人を選出します。東北ブロックは14人を選出します ●最高裁判所裁判官国民審査／任命後初の衆議院議員総選挙の投票日に、裁判官をやめさせるかどうかを国民が審査する制度です

総選挙は、衆議院議員の全員を選挙選挙です。小選挙区選挙と比例代表選挙は同じ日に行われ、四年の任期満了と、衆議院の解散によるものの二つに分けられます。また、最高裁判所裁判官国民審査も同時に行われますので、三つとも投票してください。

選挙期日および公示日

●選挙期日

○任期満了による選挙
任期満了前三十日以内。ただし、任期満了による選挙を行うべき期間が国会の開会中、または国会閉会後二十三日以内にかかる場合は、閉会後二十四日以後三十日以内。

○衆議院の解散による選挙

解散の日から四十日以内
投票できる要件
満二十歳以上の日本国民で、引き続き三カ月以上住民基本台帳に記録され、おいらせ町の選挙人名簿に登録されている人は、おいらせ町で投票できます。

投票時間

投票時間は、七時から二十時までです。ただし、第五投票所（豊栄地区）は、十八時までです。

投票所 入場券

有権者に入場券を発行します。自分の氏名が書かれている部分を

あなたの大切な一票を国政に生かそう

衆議院議員総選挙 および 最高裁判所裁判官国民審査

切り取り、投票所に持参してください。

入場券が届かない、紛失したという場合も、名簿に登録されている人は投票できます。各投票所で申し出てください。

投票方法

●小選挙区選挙
候補者名を記載して投票します。

●比例代表選挙

政党名を記載して投票します。裁判官の氏名の上の欄に、やめさせたい意思があれば×印を、なければ何も記載せず投票します。

期日前投票

投票日当日に投票できない人は、期日前投票ができます。投票日に投票できない理由（冠婚葬祭、仕事、旅行など）、本人確認のための氏名、住所、生年月日などを答えてもらい、宣誓書に署名するだけの簡単な手続きで、選挙当日と同じように投票できます。入場券が届いている人は持参してください。

①衆議院議員総選挙

選挙期日の公示日の翌日から選

選挙日の前日まで

●最高裁判所裁判官国民審査
選挙期日の前七日から選挙期日の前日まで

●時間 八時半から二十時まで

●場所 おいらせ町役場本庁舎 町民ホール（一階）

※土日と同じ時間で行います

不在者投票

①病院、施設などに入院（所）中の入

都道府県選挙管理委員会が指定する病院や施設などに入院（所）中の人は、施設の長に申し出ると、その施設内で不在者投票ができます。

②ほかの市町村に滞在する人
旅行や仕事のために、ほかの市町村に滞在する場合は、滞在先の市町村選挙管理委員会にて投票できます。

開票時間および場所

●時間 選挙当日の二十一時から

●場所 町民交流センター

問い合わせ

おいらせ町選挙管理委員会
☎0178(56)2166

新着図書案内

津軽百年食堂 森沢明夫
津軽を離れ、孤独な都会に暮らす陽一と七海は運命に導かれるように出逢い、惹かれ合う。一方、明治時代の津軽でひっそりと育まれた賢治とトヨの清らかな恋は、無垢なる懐いへと昇華され...百年の刻を超えた「心」の物語。

強
ハチはなぜ大量死したのか
2007年春までに北半球から四分の一のハチが消えた。なぜハチは大量死したのか。携帯電話の電磁波? 謎のウイルス? 農薬? 科学者たちの必死の原因追及のはてにみえてきたのは...

勸どころ
野村正樹
新社会人が身につけたい仕事の基本
新入社員ゼツタイ安心マニュアル

おとなのねこまんま
ねこまんま地位向上委員会
児童書
一期一会一生の友たち。

【太宰治生誕百年】
太宰治(六月十九日生まれ)没)の小説や伝記など。
★ 児童 ★
【那須正幹】
那須正幹(六月六日生まれ)の作品。ズッコケシリーズなど。

芸術文化鑑賞事業

本物の芸術や文化に触れてもらうために、芸術文化鑑賞事業を実施します。対象は小学生、中学生です

が、内容は本格的なもので、大人でも十分に楽しめます。保護者や地域の皆さんも、気軽に参加してください。当日参加を希望する人は、直接会場へ来てください。いずれも入場料は無料です。

- 1 七月一日(水) 十時半から十一時五十分まで/百石小学校体育館
2 七月二日(木) 十時半から十一時五十分まで/木ノ下小学校体育館
3 七月三日(金) 十時半から十一時五十分まで/木内小学校体育館

開催日時と会場
6月22日(月) 九時から十時三十分まで/木内小学校体育館
6月23日(火) 九時から十時三十分まで/百石小学校体育館

開催日時と会場
7月14日(火) 十一時から十二時まで/下田中学校体育館
7月15日(水) 十時半から十一時半まで/木ノ下中学校体育館

公民館講座のご案内

タイ料理教室

- 日程 七月一日(水)、八日(水)、十五日(水)
時間 十時から十三時まで
会場 いきいき館
講師 ミトキ・アルンラックさん
受講料 無料
材料費 千円程度
必要なもの エプロン
対象・定員 町民・十五人(申し込み多数の時は抽選)
申し込み締め切り 六月十九日(金)まで

リフォーム洋裁教室

- 日程 七月六日(月)、十三日(月)、二十七日(月)、八月三日(月)、十日(月)
時間 十三時半から十五時半まで
場所 北公民館
講師 蛇名和生さん(陶芸家)
受講料 無料
材料費 二千五百円
対象・定員 町民・十人(申し込み多数の時は抽選)
申し込み締め切り 六月二十四日(水)まで

北公民館サークル

- 講師 古川ミキさん
受講料 無料
材料費 千円程度
製作物 ブラウス
対象・定員 町民・十二人(先着順)
申し込み締め切り 六月十九日(金)まで
開生生涯学習課
0178(56) 4276

一般英会話サークル

- 毎週月曜日、十九時半から二十時半まで
北公民館
0176(57) 0033

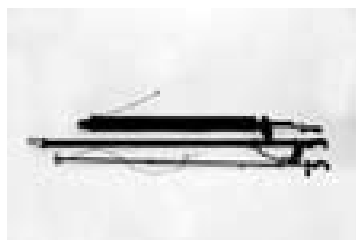
将棋イベント 関みなくる館/0178-52-3900

第四回「町内将棋大会」

兼第八回全国小学生「倉敷王将棋」特別招待選抜大会参加者募集
日時 六月十四日(日)
参加資格 町民および町内の職場に勤務、通学している人
クラス(部) シルバー▽有段(初段以上)▽無段(一級以下)▽小学生低学年▽小学生高学年
参加費 ▽一般千五百円(支部会員は千円)▽学生千円 ※いずれも賞品あり▽倉敷王将棋参加の小学生は無料

締め切り 六月九日(火)まで

倉敷王将棋 小学生低学年、高学年の部の優勝者は、八月一日開催の「倉敷王将棋」の参加資格が得られます。
子ども人間将棋の駒役参加者募集
八月二十二日に開催する全国将棋祭り「子ども人間将棋」の駒役を募集します。参加者には当日着るTシャツをプレゼントします。
応募資格 町内小学校の児童
募集人数 五十五人



カギヅゲ [民具ふれあい館蔵]

いろいろは、縄文時代の竪穴住居の炉が起源である。いろいろにはカギヅゲ(自在鉤)をかけておき、食べ物の煮炊きに用いた。はじめは梁から吊り下げた縄の端に、鉤形の木の枝をくくりつけ、それに鍋や釜をかけていた。後に、この鉤を丸棒に付けて竹の筒の中を通して軸棒と

し、上下調整の横木を取り付け、それでとめて火と鍋や釜との間隔を調節した。筒にする真竹の少ない当地では、四枚の板で角筒状にした。横木は、鯛や鯉などの形にした板細工が多く、魚は水にちなんで火事を防ぐ、火伏せの呪いだった。いろいろの火は、照明でもあり暖房でもあった。いろいろを中心

に家族みんなで食事をし、いろいろを取り巻いてわらで縄を編み、草履や草鞋を編み、女は針仕事をしたり。子どもたちは祖母の昔語りや話を聞いたり。家族での楽しい団らんのある場であり、村人との応対や懇親の場でもあった。文化財保護審議会 委員 櫻庭俊美

ハートピアおいらせ県下短歌大会

- 日時 7月26日(日) 10時から
場所 みなくる館
参加料 2000円
宿題 ①花 ②自由詠
申込み 住所 氏名 電話番号 当日出欠の可否(朱書き)を記入し、6月22日(月)までに申し込んでください。(申し込み先)
〒039-2183 おいらせ町鶉久保山 17-86 日野口和子 ☎0176-57-3860

犬の登録・狂犬病予防接種の日程と実施場所

月日	実施場所	実施時間
6月20日(土)	苗振谷地生活会館	8時から8時10分まで
	秋堂コミュニティセンター	8時15分から8時半まで
	木崎集会所	8時35分から8時45分まで
	三田会館	8時50分から9時まで
	三本木集会所	9時5分から9時15分まで
	(有)北都工業赤坂資材置場前	9時20分から9時25分まで
	旧姥名商店前(鍋久保)	9時半から9時35分まで
	本村地区コミュニティセンター伝承館	9時40分から10時まで
	新敷集会所	10時5分から10時15分まで
	洗平地区農業構造改善センター	10時20分から10時半まで
	錦ヶ丘集会所	10時35分から10時50分まで
	阿光坊農事集会所	10時55分から11時10分まで
6月21日(日)	木内々コミュニティセンター	11時15分から11時35分まで
	向山駅西口	11時50分から12時まで
	中野平集会所	8時から8時10分まで
	相撲茶屋月見亭前(染屋)	8時15分から8時25分まで
	染屋集会所	8時半から8時40分まで
	山内商店前(間木)	8時45分から9時まで
	曙集会所	9時5分から9時15分まで
	百石商事入り口(曙)	9時20分から9時25分まで
	木崎野荘前	9時半から9時40分まで
	豊原集会所	9時45分から10時まで
	木ノ下ふれあい館	10時10分から10時40分まで
	鍋久保地区農業構造改善センター	10時45分から11時まで
6月27日(土)	古間山山集会所	11時5分から11時25分まで
	北公民館	11時半から12時まで
	竹ヶ原組前	8時から8時10分まで
	岩崎徹男さん宅前	8時15分から8時半まで
	二川目消防屯所	8時35分から8時50分まで
	吉田精米所前	8時55分から9時10分まで
	豊栄地区コミュニティセンター	9時20分から9時半まで
	甲洋小学校職員駐車場	9時40分から9時55分まで
	石田商店前	10時から10時15分まで
	百石漁協	10時20分から10時半まで
	一川目地区生活会館	10時35分から10時45分まで
	越沢忠幸さん宅前	10時50分から11時まで
6月28日(日)	深沢屯所	11時5分から11時15分まで
	横道生活会館	11時20分から11時半まで
	川口地区コミュニティセンター	11時35分から11時45分まで
	明神山コミュニティ防災センター	11時50分から12時まで
	いきいき館	8時から8時20分まで
	小向商店前	8時25分から8時35分まで
	よし食堂前	8時40分から8時55分まで
	洋光台地区コミュニティセンター	9時から9時40分まで
	洋光台南公園	9時45分から10時まで
	日福商店前	10時5分から10時20分まで
	堀切川地区コミュニティセンター	10時25分から10時35分まで
	藤ヶ森生活会館	10時40分から11時10分まで
くろみ団地中央	11時15分から11時20分まで	
肴町屯所	11時25分から11時40分まで	
おいらせ町役場分庁舎	11時45分から12時まで	

犬の登録と狂犬病予防接種 Dog's Care

春の犬の登録と狂犬病予防接種を行います。犬を飼っている人は、近くの実施会場に来てください。登録だけでも受け付けします。狂犬病予防法の規定により、生後三カ月以上の犬は、登録と年一回の予防接種が

義務付けられています。違反した場合は三万円以下の罰金に処せられます。注意してください。
●料金 一頭あたり登録三千円、注射三千円
▽登録されている犬の飼い主にはがきを送付しています。接種を受けるときは、はがきを持参してください。

▽六月十二日(金)までにはがきが届かない場合は、環境保健課へ問い合わせてください。
▽接種から一年を経過していない場合、今回の接種を受ける必要はありません。
▽下半期の狂犬病予防注射は、十月に行う予定です。

●問い合わせ 環境保健課 0178(56)4218
●質問合わせ 0178(56)4218

融資の案内 ▶▶▶ FINANCING

中小企業者を対象に特別保証制度を実施

町は中小企業者の事業資金借り入れを円滑にするため、青森県信用保証協会と共に特別保証制度を実施しています。
●特別保証制度の内容
①簡易小口資金
貸付金額/千二百五十万円
保証期間/七年以内
据置期間/運転六カ月以内
設備一年以内
貸付利率/年率3.6%以内
の固定金利

②事業活性化資金
貸付金額/二千万円
保証期間/十年以内
据置期間、貸付利率は①と同じ
●保証料率
○無担保保険(一般関係)、普通保険(一般関係)を利用する場合は、財務やその他経営に関する情報をもとに、リスク計測モデルで算出されるポイントに応じた区分の料率(0.45%から1.85%)を適用します。
○特別小口保険を利用する場合、適用利率は▽経営安定関

連特別保険を一号から六号までの指定で利用すると、年率0.85%▽経営安定関連特別保険を七号、八号の指定で利用すると、年率0.77%▽創業等関連特別および創業関連特別保険を利用すると、年率0.80%になります。
詳細は気軽に問い合わせください。
●商工観光課(分庁舎三階) 0178(56)4703
●青森県信用保証協会 十和田支所 0176(23)4331

ほがらか教室 ▶▶▶ HOGARAKA

高齢者の生きがい教室 「ほがらか教室」参加者募集

「ほがらか教室」は、高齢者がさまざまな活動を通じて、介護予防と生きがいづくりを目指しています。「習い事は難しい」と思っている人も心配はありません。参加者と楽しく話をしながら活動することが出来ます。気軽に参加してください。

●ほがらか教室
①さきおりの会/毎週木曜日/十時から十五時まで
②筆っこ
の会/第一・第三木曜日/十三時から十五時まで
③うだつこの会/第二木曜日/十時半から十二時まで
④ひざしの会/第二木曜日/十三時半から十五時まで
⑤おどりっこの会/第一・第三木曜日/十時半から十二時まで
⑥大正琴の会/第二木曜日/十時から十二時まで
⑦詩吟の会/第二木曜日/十三時から十五時まで
⑧パッチワークの会/第一・第三木曜日/十時から十四時まで(講師指導は第一木曜日の午前)
⑨俳句の会/第四金曜日/十三時から十五時まで
⑩カラオケの

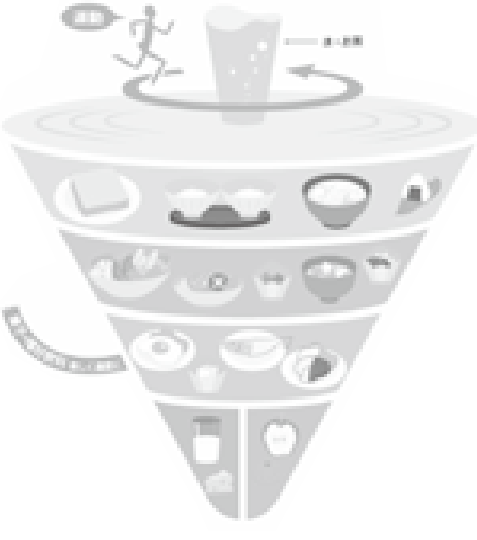
会/第二・第四木曜日/十三時から十五時まで
⑪花つこの会/第四木曜日/十時から十二時まで
⑫のっこの会/不定期
●参加資格 おおむね六十歳以上の町民。ただし、①、④、⑧、⑨、⑪の会は、六十歳未満の人も入会できます
●経費 年会費千円、各教室ごとのクラブ活動費、材料代
●申し込み・問い合わせ先
①町老人福祉センター 0178(56)4415
②町社会福祉協議会 0178(52)7066

あなたの食事は大丈夫? 食事バランスガイド

わたしたちの生活に欠かすことのできない「食」のことを、もっと正しく知り、食生活を見直してみましょう。
バランスのよい食事やその分量などをイラストで示した「食事バランスガイド」を紹介します。

- ▶食事と運動のバランス▶
食事と運動のバランスがとれることで、コマが安定して回することを示しています。
- ▶菓子や嗜好飲料はひも▶
食生活の中で楽しみといえる菓子や嗜好飲料は、コマを回すためのひもとして表現されています。

6月19日から25日は「食事バランスガイド実践週間」です。食事バランスをチェックしたい人は、気軽に栄養士に問い合わせてください。



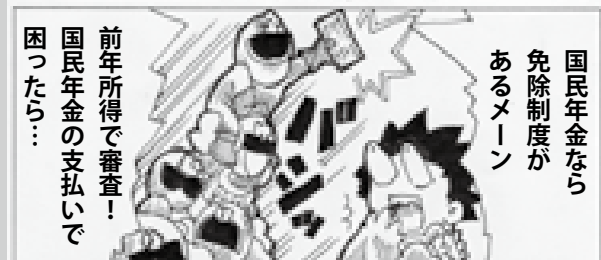
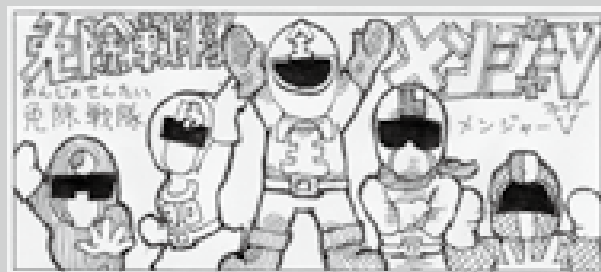
- 6月は食育月間
- 1日分の食事**
- 主食 (ごはんなど) ← ごはんなら4杯程度
 - 副菜 (野菜など) ← 野菜料理5皿程度
 - 主菜 (肉、魚料理) ← 3皿程度
 - 牛乳・乳製品 ← 牛乳なら1本程度
 - 果物 ← みかんなら2個程度

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルは外してください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶴久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苦米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平 苗振谷地/向坂/本町地区/くろみ団地 藤ヶ森/いちょう団地/堀切川/川口 明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	6月26日(金)	6月23日(火)	6月22日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック プラスチック	6月3日(水) 6月17日(水)	紙 びん 6月10日(水) 6月24日(水)
粗大ごみ	6月12日(金)・26日(金) ★有料予約制/1週間前までに申し込みが必要です		

●問い合わせ 環境保健課(分庁舎1階) TEL 0178-56-4218

免除制度がありますよ！



将来きちんと年金を受け取るために、やれることは今やっておこう！

教えておいらくん

免除等を承認された場合の保険料ともらえる年金額

免除種類	保険料(月)	もらえる年金額
① 全額免除	0円	1/3
② 納付猶予(30歳未満)	0円	—
③ 3/4免除	3,670円	1/2
④ 半額免除	7,330円	2/3
⑤ 1/4免除	11,000円	5/6

表の③から⑤までは、保険料を支払わないと未納扱いになるよ。しっかり納めよう。



■問い合わせ 八戸社会保険事務所 TEL 0178-44-1742
町民課(本庁舎1階) TEL 0178-56-2246

ふるさと納税寄附に感謝 ▶▶▶ SPECIAL THANKS

町はふるさと納税寄附金として、三十六人から総額二二〇万七九〇円を寄附してもらいました。おいらせ町のまちづくりのため、大切に活用していきます。ありがとうございます。

本人の了解を得て、名前を公開します。

■寄附者 原哲弘(長崎県佐世保市) / 森隆(茨城県ひたちなか市) / 笠井俊宏(京都府京都市) / 青木暢美(神奈川県川崎市) / 杉本匡弘(大阪府大阪市) / 釘島達郎(東京都豊島区) / 八木橋泰仁(埼玉県さいたま市) / 浪岡豊(三

沢市) / 柏崎勲(おいらせ町) 寄附金の使い道は次の5種類です。一定の金額がまとまり次第、活用します。

- ①人材育成(学校図書購入)
- ②自然環境の保全
- ③コミュニティ活動の推進
- ④おいらせブランドの普及推進
- ⑤その他(特定しない場合は町が活用方法を指定します)

また、寄附にあたり、温かい言葉を寄せてくれた人もいます。その一部を紹介します。

■埼玉県・女性(原文を掲載)
今日は母の命日です。私を生んでくれた両親に心から感謝す

ると同時に、旧百石町に生まれ十八歳まで育つたことを、本当に良かったと改めて思っています。ありがとうございます。

■東京都・男性(原文を掲載)
両親が転居し、おいらせ町に住んでおります。東京生まれ、東京育ちの私にとって、年に何回かおいらせ町を訪問させていただいておりましたが、自然に恵まれて空気が良いし、住むには良いところだと感じています。些細な金額ではありますが、まちづくりに役立ててください。

■ふるさと納税の問い合わせ
企画課(本庁舎二階)
TEL 0178(56)4701

納税相談窓口を開設

日中仕事などで、税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば、各種税金を納めることもできます。気軽に利用してください。

	月日	時間	会場
夜間	6月2日(火)	17:15-20:00	税務課(本庁舎) 分庁サービス課(分庁舎)
	6月16日(火)		
	6月9日(火)		
	6月23日(火)		
休日	6月7日(火)	8:30-17:00	税務課(本庁舎)

●問い合わせ 税務課 TEL 0178-56-4704

◎町・県民税1期分の納期限は6月30日です
納め忘れ防止、手間のかからない口座振替が便利です！

おいらせ景観百選 ▶▶▶ SPECTACLE

景観百選を募集

魅力あふれる景観を生かしたまちづくりを進めるため、町民が大切に思うおいらせ町の景観や風景を広く募集します。

●応募資格 町民または町内在住の事業所などに勤める人

●対象になる景観 町内の自然、建造物、歴史性、街並み、風物詩、伝統芸能、イベントなど。特に自然や街並みは、春や夏の季節を感じられる景観を優先します。

●応募方法 本庁舎企画課、分庁舎分庁サービス課に備え付

けている応募用紙に必要事項を記入し応募してください。応募用紙は町ホームページからダウンロードすることもできます。応募点数に制限はありません。

●景品 応募者の中から抽選で五十人に景品をプレゼントします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

●締め切り 八月三十一日(月)

●留意事項
①おいらせ景観百選は写真コンテストではありません。写真がなくても応募できます。写

真撮影技術の良しあしで選別されることはありません。

②「どこからどこを見た景観、風景」なのかを具体的に記述してください。デジタルデータをメールで送る場合は、三メガバイト以下で送ってください。

③応募した写真などの著作権は町に帰属します。応募に際して記入した個人情報、本募集以外の目的には使用しません。

■企画課(本庁舎二階)
TEL 0178(56)4701

訂正とお詫び

広報おいらせ5月号24ページの写真は、左右が反転していました。訂正のうえ、お詫びします。



町民相談

日時/6月10日(水)
10時から15時まで
会場/東公民館

行政相談

日時/6月24日(水)
10時から15時まで
会場/東公民館

定額給付金 ▶▶▶ MONEY

定額給付金

申請は済みましたか？
町は三月二十五日から定額給付金の申請を受け付け、四月九日から随時給付しています。定額給付金を受け取るには、申請手続きが必要です。まだ申請していない人は、早めに手続きしてください。

▽手続き方法が分からない▽申請書をなくした▽申請書が届かないという人は、総務課に気軽に連絡してください。

詐欺に注意

定額給付金を騙り、現金をだまし取る事件が発生しています。注意してください。

●ATM(現金自動預払機)の操作を頼むことは絶対にありません
●町職員が手続きのために手数料を求めるとは絶対にありません

不審な電話がかかってきたら、迷わず相談してください。

■総務課(本庁舎二階)
TEL 0178(56)2166
三沢警察署
TEL 0176(53)3145
警察相談電話 #9110

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

情報公開制度は町情報公開条例に基づくものです。町の情報を広く町民に公開、提供し、公正で開かれた町政を進めることで、町政に対する理解と信頼を深めることが目的です。

個人情報保護制度は、町個人情報保護条例に基づくものです。個人情報情報を適正に取り扱うルールを定め、個人情報の開示および訂正などを求める権利を明らかにすることで、個人の権利、利益を保護することが目的です。

●情報公開制度に基づく運用状況(平成20年度)

実施機関	請求件数	処理の状況			不服申立	
		開示	部分開示	不開示		
町	長	2	20	1	0	0
教育委員会		1	15	0	0	0
合計		3	35	1	0	0

※議会、農業委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会には請求はありませんでした。

※請求件数1件につき、関係文書が複数となる内容もあったため、処理の状況と一致していません。

※個人に関する情報であって、特定の個人を識別できるものを部分開示としました。

●個人情報保護条例に基づく運用状況(平成20年度)

自己情報の開示、訂正および利用停止にかかる請求はありませんでした。

問合せ/総務課 TEL 0178-56-2166

にこにこルーム

幼稚園に未満児のお部屋ができました

対象/1歳以上~3歳未満
定員/12人
今までにない、遊べる乳児プログラムが充実しています。

入園受付中!!

ご連絡は「入園担当」まで

こどもの天国 ママのオアシス
百石幼稚園

親子教室 遊びの広場
今年度の受付開始中!!

対象/ひよこメンバー(0~2歳)、通常メンバー(2歳以上)
時間/水曜日 年28回(予定表がごさいます)
参加/年会費 3,000円

5月20日(水)スタート 定員になり次第終了
ご連絡は「遊びの広場担当」まで

百石幼稚園 TEL 039-2233 おいらせ町沼端 14-75 TEL 0178-52-5225

※有料広告掲載欄です

にこにこルーム

幼稚園に未満児のお部屋ができました

対象/1歳以上~3歳未満
定員/12人
今までにない、遊べる乳児プログラムが充実しています。

入園受付中!!

ご連絡は「入園担当」まで

百石幼稚園 TEL 039-2233 おいらせ町沼端 14-75 TEL 0178-52-5225

OIRASE BRAND File ④

【全国に誇れる】
 おいらせが **ブランド**
 熟成おいらせ黒にんにく



Oirase Black Garlic

遠い昔から「元気の源」として食べられてきたニンニクを、独自の製法で発酵、熟成させたのが、柏崎青果の「熟成おいらせ黒にんにく」だ。口に含むと、まるでフルーツのような甘酸っぱさが広がる。生のニンニクのおいしさは感じられない。もともと栄養価が高いニンニクだが、じっくり熟成させることで、栄養価は飛躍的に高まるという。たんぱく質や糖質、ポリフェノールなどの成分は、熟成前の二倍にもなっ

ている。柏崎進一代表取締役は「毎日食べても飽きがありません。お肌の美容にもいいんですよ」と自信をみせる。ほかにもさまざまな農産物加工品の販売拡大を狙う柏崎さん。今後の展開が楽しみです。

■有限会社柏崎青果
 ☎0178(56)5030
 URL: <http://www.aomori96229.jp/index.html>

町は「おいらせブランド推進協議会」と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。本年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組む予定です。興味のある人は、ぜひ入会してください。
 ●問い合わせ 企画課 佐藤啓二 ☎0178-56-4701
 ポータルサイト <http://www.oirasebrand.com/>

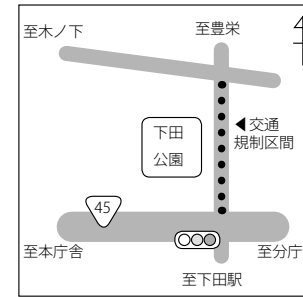
消防情報

三沢地区消防団
 連合観閲式

関係課 ☎56-2166

- 日時 六月七日(日)
- 会場 下田公園
- 内容 観閲/八時半分列行進/九時から式典/九時半から十一時まで(アトラクション/十時から、幼年消防クラブのはしご乗り、お遊戯など)

●交通規制 七時半から九時半まで、下田公園前の道路は交通規制されます。特に八時半から九時過ぎの分列行進までは、通行止めになります。
 雨天時は、交流センターで式典だけを行います。



文化財

工事前には確認を

関係課 ☎56-4276

埋蔵文化財は土に埋もれているので、気付かずに破壊する可能性があります。壊れた埋蔵文化財は、二度と元に戻すことはできません。工事の計画段階で、予定地が埋蔵文化財に登録されているか確認してください。
 ●埋蔵文化財に登録されているとどうなるの？
 担当者が現地踏査や試掘調査を行い、状況を確認します。遺構や遺物が

奨学資金

町の教育に役立ててほしいと、奨学資金を寄付していただきました。ありがとうございます。

- 町商工会女性部/百石 まける日の売り上げ金の一部、二万円
- ダンス愛好会パオ/チャリティの売り上げの一部、六万一千六百元

下水道

浄化槽設置者に補助

関係課 ☎56-4819

町は、下水道施設が当面の間整備されない地区で浄化槽を設置する人に補助金を交付します。申請する場合は、町が定める申請書類を、工事着工前に提出してください。補助金は限られた予算の中で交付します。希望者は早めに手続きしてください。受付期間は本年十月二十日までです。
 【主な交付要件】
 ①公共下水道事業認可区

子どもだて

児童手当の現況届け

関係課 ☎56-2246

現在児童手当受給者には、現況届けの届け出用紙を郵送します。この届けは、毎年六月一日時点の状況を記入し、児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。この届けの提出がないと、六月分以降の手当が受けられなくなります。注意してください。
 ●受付日と場所
 ○六月二十二日(月) 町民課(本庁舎)
 ○六月二十三日(火) 分庁サービス課(分庁舎)

子育て支援センターからのお知らせ

子育て支援センターは、未就園児とその家族を対象にサークル活動を行っています。親子で一緒に気軽に参加してみませんか？
 詳細は各施設へ気軽に問い合わせてください。

場所	日時	行事内容
三田保育園 ☎0178-56-2008	6/11ⓧ 10:00~11:30	親子クラブ
	6/16ⓧ 10:00~12:00	体験保育(2歳クラス)
	6/17ⓧ 10:00~11:30	マタニティマクラブ
	6/18ⓧ 10:00~12:00	体験保育(1歳クラス)
	6/22ⓧ 10:00~12:00	体験保育(0歳クラス)
	6/25ⓧ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ
錦ヶ丘保育園 ☎0178-56-4051	6/5ⓧ、12ⓧ、19ⓧ、26ⓧ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ
	6/17ⓧ 10:00~11:30	元気ルーム(自然と親しもう)
菜の花保育園 ☎0176-53-8670	6/24ⓧ 10:00~11:30	ピヨピヨルーム(自然と親しもう)
	6/13ⓧ 10:00~11:30	体験保育
	6/13ⓧ 14:00~15:30	わくわくサークル(ストレス解消! キックボクシング)
あゆみ保育園 ☎0178-52-2206	毎週土曜 15:00~16:30	キッズパレエ(有料)
	6/2ⓧ 9:45~14:30	遠足(こどもの国)
	6/3ⓧ 10:30~11:00	青空キッズ(中央公園)
	6/5ⓧ 10:00~11:30	草もちづくり
	6/9ⓧ 10:00~11:30	父の日プレゼントづくり
	6/11ⓧ 10:00~11:30	おしゃべりサロン
	6/13ⓧ 10:30~11:00	青空キッズ(いちょう公園)
	6/16ⓧ 10:00~12:50	野菜植え・給食体験
	6/18ⓧ 10:00~11:30	ピースサークル
	6/19ⓧ 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム
6/25ⓧ 10:00~11:30	おいらせクロバ	
6/30ⓧ 10:00~11:30	七夕製作	

詳細はきらら通信を確認してください

健康

新型インフルエンザ

関係課 ☎27-5111

新型インフルエンザの症状は、▽三八度以上の高熱▽せき▽くしゃみ▽筋肉痛などです。これらの症状がある人は、新型インフルエンザ医療センター(八戸保健所)に相談してください。

暮らしのお手伝いをいたします

シルバー人材センターとは…

農業、大工、自動車運転、事務などの仕事をした経験豊富な方々が会員となり、家庭、企業、公共団体からのお仕事をお引き受けしています。
 あなたもシルバー会員になって知識や経験を増やしませんか？
 六戸町・おいらせ町に居住し、健康で働く意欲のあるおおむね60歳以上の方で、センターの趣旨に賛同していただける方なら、どなたでも入会できます。

社団法人おいらせ広域シルバー人材センター

おいらせ町沼端 14-165
 Tel.0178-52-3177 Fax.0178-52-3028

※有料広告掲載欄です

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

大村	平館	桜久保	那季	(剛史・恵美)	深沢
日ヶ久保	山田	奥山	那季	(弘昭・美晴)	6丁目
石田	モージェンソン	アレックス	陽太	(広・智子)	日ヶ久保
石田	クサリン	イソベ	康太	(敦也・奈津子)	緑ヶ丘
石田	沼尾	心	愛	(裕介・美咲)	木崎
沼尾	関川	しほ	イソベ	(真・由依)	木ノ下
関川	竹内	涼	菜	(輝彦・加寿子)	青葉
鎌田	坂本	樹	丸	(拓弥・美晴)	若葉
坂本	赤澤	百	央	(享千・直子)	上新町
			成	(大輔・久子)	緑ヶ丘
			香	(健一朗・信子)	青葉
			花	(直樹・文子)	木崎
				(仁志・亜砂美)	肴町

結婚おめでとう

橋本	友麻	貴弥	堀川
崎信	弥也	也秋	七戸町
堤村	千	一	本八戸市
小福	健	子	三沢市
立花	康		5丁目

お悔やみ申し上げます

高下	嶋道	治敬	70	秋堂
田中	由子	三吉	53	洗川
荷軽	向新	市郎	94	二川
小岩	崎正	幸一	72	上新町
馬場	田幸	三郎	74	二川目
袴田	館勝	日榮	62	秋堂
倉川	口勝	春吉	87	明神下
野呂	呂佐	吉マ	94	二川目
奥原	寺一	博	60	向坂
吉原	村い	と次	61	洋光台
丸井	竹謙	司	81	一川目
中野	福	松	72	6丁目
小向			65	上新町
			92	住吉町
			59	奥人瀬地
			77	七軒町
			85	

4月届け出分。届け出時に、本誌への掲載を希望した人だけ載せています

おいらせ町の人口

人口 (5月1日現在)		
	人口	前月比
男	12,199	+24
女	12,864	+16
計	25,063	+40
世帯数	9,153	+46

ごみ減量化、有料化に向けた意見交換会

十和田地域広域事業組合の「ごみ有料化等検討委員会」は、中間提言「ごみ減量化等に向けた方策について」を公表し、住民との意見交換の必要性を示しました。次のとおり意見交換会を行いますので、気軽に参加してください。

- 日時 七月十日(金) 十四時から
- 場所 交流センター小ホール

町有財産の売却

町は不動産を一般競争入札により売却します。

- 公売物件の表示
- ①旧百石小学校教職員住宅用地(A)
- 土地の表示 おいらせ町苗平谷地三九番地一四(約九八〇平方メートル)
- 付属建物 旧教職員住宅(築四十二年、鉄筋コンクリート造二階建、約四〇〇平方メートル)
- 予定価格 九百七十万円

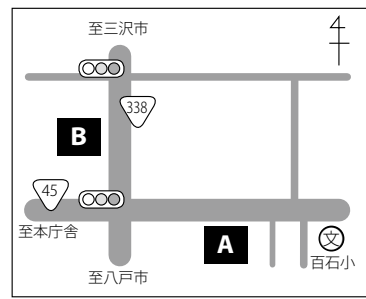
※市街化区域内/第一種住居地域(建60割、容

200割)に所在

- ②旧百石駐在所(B)
- 土地の表示 おいらせ町上前田一二五番地一、一二五番地三(四八三・八二平方メートル)
- 予定価格 千百万円

※市街化区域内/第二種住居地域(建60割、容200割)に所在

- 縦覧および入札参加申込書受け付け
- 期間 六月十五日(月)から七月二日(木)まで(土日祝日除く)
- 場所 財政課(本庁舎)
- 入札
- 日時 七月十七日(金) 十時



○場所 中央公民館講堂

- 入札保証金 免除
- 参加資格 契約を結ぶ能力を有しない人や破産者で復権を得ていない人を除いて、誰でも参加できます。希望者は「一般競争入札参加申込書」を提出してください。

パークタウン洋光台 好評分譲中

=残り 23 区画=

- 洋光台団地の購入者には 1坪あたり2万円を助成
- 洋光台団地の購入者を紹介した人には10万円を贈呈

●問い合わせ/企画課 ☎0178-56-4701



母子家庭等就業支援講習と相談

母子家庭の母や寡婦対象の講習会です。

- 講習会
- ①訪問介護員養成研修二級課程講習会
- 開催地 弘前市、八戸市
- 期間 弘前市/七月から八月まで、平日 二十六回程度/八戸市

第一次おいらせ町総合計画の公表

このほど、第一次おいらせ町総合計画(冊子、概要版)が策定されました。いずれも町ホームページで公表しています。概要版は行政推進員を通じて、各世帯に配布します。冊子版の配布を希望す

町営霊園現地説明会

見学だけでもけっこうです。気軽に参加してください。

- 日時 六月十三日(土) 十時から十四時まで
- 場所 町営霊園駐車場

農業用使用済みプラスチック回収

農業用使用済みプラスチックは、農業者が自ら処理することが法律で定められています。不法投棄や畑でプラスチックを焼却することは、環境への悪影響やブランドイメージの低下につながります。これらの回収は次のとおり行います。

- 回収場所
- ①JA十和田おいらせも もいし支店・百石実行事業所/六月十一日(木)
- ②JA十和田おいらせも もいし支店・二川目野菜集出荷センター/六月十二日(金)
- ③JA十和田おいらせ下田支店・北部野菜センター/六月十九日(金)
- ④JA十和田おいらせ下田支店・北部野菜センター/六月十九日(金)

経済センサス

平成二十一年経済センサス基礎調査は、七月一日に行われます。対象は、全国すべての事業所、企業です。調査の結果は、地域開発や都市開発など、わたしたちの生活をよりよくするための資料になります。

- 各種相談
- ①法律相談 毎月第三火曜日、十三時(要予約)
- ②就業・母子相談 通年
- 問合せ 町民課 県母子寡婦福祉連合会 ☎017-735-4152

町営霊園現地説明会

見学だけでもけっこうです。気軽に参加してください。

- 日時 六月十三日(土) 十時から十四時まで
- 場所 町営霊園駐車場

町営霊園現地説明会

見学だけでもけっこうです。気軽に参加してください。

- 日時 六月十三日(土) 十時から十四時まで
- 場所 町営霊園駐車場

町営霊園現地説明会

見学だけでもけっこうです。気軽に参加してください。

- 日時 六月十三日(土) 十時から十四時まで
- 場所 町営霊園駐車場

1歳お誕生記念写真

期間限定特別価格キャンペーン実施中

- ・撮影料 ¥3,700
- ・プリント料 六切1枚 ¥4,800
- ・プリント料 L判2枚 ¥1,000
- ・高級紙台紙 ¥800

全部合わせて **¥4,800** ※1ポーズにつき

・ご予約制となります ・お気に入りのお召し物でお越しください

Tel:0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603
 Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

2009年8月末まで 労働大臣検定一級写真技師の店 有限会社アトリエゆう

まちづくりの助成事業

まちづくり推進委員会は、まちづくりのためのさまざまな活動を支援します。イベントや研修会などを実施したいと考えている人や団体は、気軽に事務局へ問い合わせてください。

研修支援事業

- 活用事例／演劇によるまちづくりを実施している団体との交流研修、ライブコンサートによるまちづくり研修、住民主体による地域づくり先進地視察研修、まちづくりやシンポジウムへの参加研修など
- 対象／①町内に在住または勤務している人（おおむね20歳以上）②団体で実施する場合は5人以内の団体
- 内容／①まちづくり、地域活性化のための自主的な研修②ほかの公的機関や団体が主催する研修③語学留学、娯楽性が高い鑑賞事業などは対象外
- 助成対象費用／交通費、宿泊費
- 助成率／①自主的な研修の場合は対象経費の80%②ほかの団体が主催する研修の場合は対象経費の50%
- 助成限度額／①自主的な研修の場合は1人あたり10万円②ほかの団体が主催する研修の場合は1人あたり3万円（ただし予算には限りがあります）

まちづくり団体支援

- 対象／町内を活動拠点とする団体で、まちづくりのための新規イベントなどを実施しようとする団体。ただし、ほかの補助や融資を受けていない事業に限ります。
 - 助成率／事業費の50%
 - 助成限度額／1件あたり10万円
- 問 まちづくり推進委員会事務局（企画課内）
☎0178-56-4701

家庭用生ごみ処理機補助制度実施中

生ごみも大切な資源



環境保健課 ☎0178-56-4218

HEALTH

保健福祉
 環境保健課 ☎56-4218
 INFORMATION

6月4日は虫歯予防デー

おいらせ町の子どもの虫歯保有率は、青森県の平均を上回っています。

	おいらせ町	青森県
1歳半健診	7.73%	4.10%
3歳児健診	52.21%	40.16%

平成19年度の調査結果

▷哺乳びんを使っている▷母乳から離れていない▷甘いものをよく食べる▷おやつ時間が決まっていない▷仕上げ磨きが十分でない▷そんな子どもは虫歯が多いようです。

子どもの口の健康は、最も身近な家族に委ねられるといわれています。生活習慣に気を付けて、子どもの虫歯を防ぎましょう。

虫歯などのばい菌は、食べ物の口移しでも子どもに移ります。家族みんなで口のケアに気を付けましょう。

町は生まれてくる赤ちゃんの健康のため「妊婦歯周疾患検診受診券」、1歳半と2歳半健診では「フッ素塗布無料券」を交付しています。子どもだけでなく、成人の歯周疾患検診も実施しています。

これらを有効に活用して、家族ぐるみで虫歯の予防に取り組みましょう。



しっかり歯磨きをしようね
 中山莉音ちゃん（3つ）・櫻田恵大君（3つ）
 =木内タケ

各種募集

次世代育成支援対策推進協議会委員募集

町民課 ☎56-2246

次世代を担う子どもたちの健やかな成長と、生み育てるための環境づくりを図るため、町は平成十九年度に「子どもと家族応援プラン」を策定し、推進しています。

本年度はこの計画の一部見直しを行います。この中に町民の意見を反映するため、委員の一部を募集します。

- 応募資格**
 ①本年四月一日時点で町に一年以上在住、在勤または在学する満十八歳以上で、少子化や子育て支援対策に興味があり、何らかの交通手段で会議場所（主に役場）まで自分で移動し、審議に参加できる人
- 町**のほかの審議会、委員会、懇談会などの委員、議会議員または行政機関の職員でない人
- 禁固以上の刑に処せられその執行が終わっていない、成年被後見人など、町税などの滞納者のいづれにも該当しない人**
- 募集人員** 三人程度（保護者、保育団体、福祉、教育、保健医療、商工・企業の各関係者）
- 任期** 委嘱の日（七月中旬予定）から二年間
- 会議** 三回程度（本年度中。開催時間は委員の意向を反映する予定）
- 報酬** 日額五千三百円と交通費相当額
- 応募方法** 所定の応募

日、二十日、二十七日（七月の毎週月曜日）
 十九時から二十時
 四十五分まで

- 場所** 交流センター
 - 参加費** 無料
 - 対象** 町民または町内で勤務している人
 - 募集人数** 十五人程度
 - 講師** 中村昭則さん、中村のり子さん（硬式テニス公認指導員）
 - 主催** 町テニス協会
 - 後援** 町教育委員会
- テニスシューズは各自持参してください。ラケットを持っていない人は連絡してください。

- スポーツ振興課
- テニス協会事務局
 中川 ☎0176(57)1563

トレーニング機材を新たに設置

町は、交流センタートレーニング室にランニングマシン二台とエアロバイク三台を更新しました。健康増進、減量や筋力アップのために利用してください。

- 使用時間** 九時から二十一時まで（日曜日は十七時まで）

- 応募締め切り** 六月三十日（火）当日消印有効
- 選考方法** 応募申し込み書、小論文により選考委員会にて選考。結果は文書で通知します。
- 提出先** 町民課 児童福祉係

県民駅伝競走大会出場候補者募集

町民課 ☎56-4259

第十七回青森県民駅伝競走大会は、九月六日に

- 一人あたりの利用時間は一時間です。
- 使用料金** ▽町民/一時間あたり百円 ▽町外在住者/一時間あたり百五十円
- 事業で利用できない日** 町介護福祉事業「貯筋道場」を行うため、毎週火曜日の九時から十二時まで、一般の人には利用できません。協力をお願いします。

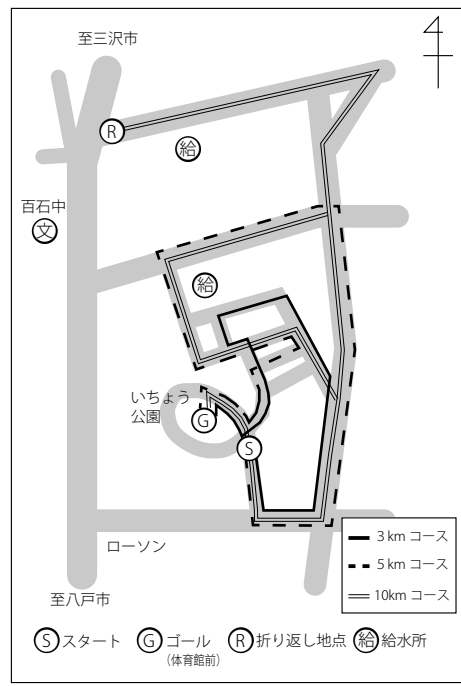
- 日時** 六月二十八日

航空自衛隊機の体験搭乗者を募集

町民課 ☎56-4259

- 日程** 八月二日（日）
- 場所** 航空自衛隊三沢基地
- 対象** 三沢基地周辺市町村に在住する小学生以上の健康な人

- 日時** 十時から十一時四十分まで
 - 場所** いちよう公園周辺
- 当日はいちよう公園周辺の道路が交通規制されます。公園内への出入り



は一時的にできなくなります。車の利用はできるだけ控えてください。当日、いちよう公園内の施設は、十五時まで利用できません。

スポーツ

硬式テニス教室開催

町民課 ☎56-4259

- 日時** 七月六日、十三

- 内容** 輸送機の体験搭乗（二十分程度）
- 募集人数** 百人程度
- 応募方法** 往復はがきに▽住所▽搭乗希望者氏名とフリガナ▽年齢▽職業▽電話番号一を記入し申し込んでください。募集人数を上回る場合は抽選します。
- 締め切り** 六月二十六日（金）必着
- 申し込み・問い合わせ** 〒033-8604 三沢市後久保一二五の七 三沢基地広報班体験搭乗係 ☎0176(53)4121



人の命を救いたい

SAVE LIFE

奥入瀬川を望む堤防の北側にあるおいらせ病院は、おいらせの地域医療を支える拠点だ。これまで五人の医師が常勤していたが、本年四月、新たに非常勤医師として荒井渉さん(四〇)を迎えた。

荒井さんの専門は「消化器一般外科」といわれる分野。その内容は虫垂炎やヘルニアの手術、高度なものになるとがんの手術など、多岐にわたる。

医師を目指したのは高校受験のころと話す荒井さん。そのときはまだ漠然とした志望が、大学入学後は強い思いへ変わったという。「大学の医学部に入ってから、『人の命を救いたい』、『病にかかっている人に寄り添いたい』という思いが日増しに強くなりました」と力強く語る。



荒井

渉さん

●あらい・わたる 1969年千葉県千葉市生まれ。2006年自治医科大学大学院を卒業。専門は消化器一般外科。妻 娘3人の5人家族。現在はおいらせ町に単身赴任中。趣味ゴルフ。おいらせ町八幡町在住、40歳

荒井さんはこれまでたくさんの人々と接し、医療の力で命を救ってきた。と同時に、いくつもの尊い命をみとってきた。「命を救えなかつたときは、自分自身や医療の力の足りなさを痛感するときです。つらい瞬間でもありません」と話す。それでも病が治り、喜びにあふれた患者の笑顔を見る度に、荒井さんは医師としてのやりがいを感じているという。

町民の健康を願う荒井さんは、「自分の体は自分で管理できるのが一番。そのお手伝いをするのが病院です。健康の悩みがあったら、いつでもわたしたちや看護師に相談してください」と笑顔で話す。その静かな口調の中に、医師としての確固たる思いを垣間見た。

地域医療を支える非常勤医師の素顔

6月 おいらせ健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 月				
2 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談
3 水	認知症予防教室	9:30-12:00	北公民館	
4 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
5 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
6 土				
7 日				
8 月				
9 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受付/12:30-12:45	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談 対象◎平成19年11月生まれの子ども
10 水	転倒予防教室 2~3カ月児健康相談	9:30-12:00 受付/10:00-10:30	北公民館 いきいき館	理学療法士の運動指導 対象◎平成21年3月生まれの子ども
11 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
12 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
13 土				
14 日				
15 月				
16 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談
17 水	健口栄養講座	9:30-12:00	北公民館	
18 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
19 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
20 土				
21 日	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
22 月				
23 火	リハビリ健康相談 転倒予防教室	9:30-11:00 9:30-12:00	いきいき館 北公民館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談 健康運動指導士の運動指導
24 水	5~6カ月児健康相談	受付/10:00-10:30	いきいき館	対象◎平成20年12月から平成21年1月生まれの子ども
25 木	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室 ポリオ予防接種	9:30-12:00 11:00-12:00 受付/13:30-14:00	のびのび館 老人福祉センター いきいき館	理学療法士の運動指導 対象◎生後3~90カ月の子ども
26 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受付/12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導・相談 対象◎平成17年12月生まれの子ども
27 土				
28 日				
29 月				
30 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・看護師の健康相談

編集後記

▽今月の特集は交通安全を取り上げました。車を運転していると、外の景色を眺めたり、音楽に聞き入ってしまったりするものです。でもちょっとした気の緩みが積み重なると、いつかは事故を起こすかもしれない。取材を通じて、あらためて気をつけなければならぬと思えました。▽間木パトロール隊は、地域の子どもを安全を守りたいという強い思いで、自主的に立ち上がった組織です。組織の立ち上げを提案した中村喜義さんは「地域として今やらなければならぬ」「見守りは毎日続けなければならない」と熱く語ってくれました。地域の力を結集した「自治の力」を垣間見ました。▽ほかにも町内会や学校、個人で子どもたちの登校を見守るたくさんの方の姿がいます。その継続が、交通安全を支える大きな力になることを感じました。▽桜の花が舞う下田公園、いちよう公園では、たくさんの方の笑顔と出会えました。来年も満開の桜が、わたしたちを喜ばせてくれることでしょう。

企画課 広報担当 松林拓大

Original Frame & Urethan Panel

F&P FPの家

参加費 無料

「FPの家」工場見学会

建てる前に見て・触れて・体感して 納得するまで体験しよう

大切な住宅造り、失敗しないためにも本物を見てからお決め下さい。

本物の住宅工法の全てが分かる目からウロコの見学会です!

僕らと一緒に記念写真撮ろうよっ!

パネルマン F.P.坊や

「FPの家」の要とも言える「FP断熱パネル」の製造工場を工場見学という形で毎月一般公開しております。建てた後で後悔しない「FPの家」のヒミツを「体感」してみませんか?

◎6月14日(日)に開催します。
◎7月は7月12日(日)の予定です。
※詳しい内容のお問い合わせ、お申し込みは 建築課 立崎・太田まで

〒039-2135 上北郡おいらせ町立蛇71番地
Tel. 0178-50-6511 Fax. 0178-50-6510

ホームページ 柏崎組 検索 Click

※有料広告掲載欄です

みんな笑顔で春の訪れを楽しんだ

おいらせ町春まつりは4月29日から5月5日までの7日間、下田公園といちょう公園で行われました。4月26日に降った大雪にも負けず、桜の花は力強く咲き乱れました。期間中は青空に恵まれ、多くの人が春の桜を満喫しました。



01_雪化粧した下田公園のソメイヨシノ。大雪でも花を落とさない桜の生命力が感じられる 02_下田公園の湿生花園で咲くミズバショウ。純白の可憐な花は訪れる人の目を引く 03_青森県南レクリエーション協会主催のチャレンジ・ザ・ゲームは5月3日にいちょう公園で行われた。子どもたちはさまざまなゲームを楽しんだ 04_グラウンドゴルフ大会は5月3日、いちょう公園で行われた。ナイスショットを連発した西館美智子さん＝一川目＝(写真右) 05_春まつりオープングセレモニーは4月29日、いちょう公園で行われた。百石幼稚園の園児は自由の女神像の前で、元気に踊りや演奏を披露した 06_子ども会育成連合会(十文字憲夫会長)主催の親子追跡ハイキングは4月29日、下田公園キャンプ場で行われた。本年初めて参加した濱美沙子さん＝染屋＝は「子どもたちと楽しみながら歩きました」と話していた。左から美沙子さん、怜愛さん、柚愛さん、辰徳さん 07_いちょう公園で花見を楽しむ観光客。小笠原淑光さん＝八戸市＝(写真右)は「この桜の花は本当にきれいです。仲間と飲むお酒もつい進んでしまいます」とにっこり

四月上旬から続いた晴天は、おいらせ町の桜の木々に温かい光を降り注ぎました。四月二十日過ぎには、桜のつぼみも開き始め、例年より早い桜の開花が予想されていました。

でも四月二十六日、太平洋沖を北上してきた春の低気圧は、季節はずれの大雪をもたらしました。多くの関係者は「桜の花が散ってしまうかもしれない」と心配していましたが、でも桜の花は雪に負けることなく、しっかりと花をつけていました。

好天に恵まれた公園で春を満喫する

四月二十九日から五月五日までの春まつり期間中は、雨が降ることもなく、絶好の花見日和に恵まれました。公園内は、友人や家族と一緒に、笑顔で花見を楽しむ人たちにぎわいました。時折吹く風に舞い散っていた桜の花々。来年もきつと見事に咲き乱れ、人々を楽しませてくれることでしょう。

オープンングセレモニーはいちょう公園の自由の女神像前で行われました。百石幼稚園のかわいい園児たちの踊りや演奏に、たくさんの保護者がカメラを向けていました。



写真上●下田公園の桜は4月24日にほぼ満開になった。美しくライトアップされた夜桜と、降り注ぐような星たちの美しい競演
写真右●いちょう公園の花壇には、毎年百石高校食物調理科の生徒の手で花が植えらる。左から類家瑞菜さん＝五戸町＝、坂本瞳さん＝むつ市＝
写真下●イベント期間前の公園清掃は4月22日、下田公園といちょう公園で行われた。観光協会会員、シルバー人材センターや一般ボランティアなど、300人ほどが公園清掃に汗を流した





自衛隊音楽隊員の父は
子どもたちの健やかな成長を願う
柴田琉登君 風花さん 定男さん

(秋堂)

PROFILE

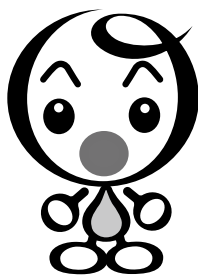
しばた・さだお 1970年生まれ。岩手県一戸町出身、自衛官。沖縄県那覇基地勤務を経て、96年に三沢基地に転属。妻と子3人の5人家族。おいらせ町秋堂在住、38歳
しばた・ふうか 2002年生まれ。木内々小学校1年生。好きな教科は国語。好きな食べ物は「いかのてんぷら」
しばた・りゅうと 2003年生まれ。百石幼稚園。好きな遊びは「変身ごっこ」

四月二十九日、桜の花が美しく咲くいちよう公園でピクニックを楽しむ柴田さん家族！。

琉登君(五)は百石幼稚園に通うわんぱくでちよつと恥ずかしがりやな男の子。この日に行われた春まつりオーピングセレモニーでは、堂々と大太鼓を演奏した。「幼稚園にはたくさん友だちがいるからすぐ楽しいよ」とほほ笑む。

風花さん(六)は、本年四月に木内々小学校に入学したばかりの一年生。小学校での生活は楽しいことがたくさんあるという。特に楽しみなのは給食の間だと笑顔で話す。

父の定男さん(三)は、航空自衛隊音楽隊のメンバーとして活躍する自衛官だ。子どもたちを優しく見つめながら、「子どもたちには明るく元気に、健やかに育ててほしいですね」とにっこり。定男さんの温かい手にしっかりと抱かれた風花さんと琉登君は、満面の笑顔を見せてくれた。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 おいらせ

広報おいらせ No.52 2009年6月1日発行号

発行 おいらせ町役場/編集 企画課/〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2 / ☎0178-56-2111 / http://www.town.oirase.aomori.jp /印刷 (株)岩間印刷

広報おいらせ5月号の印刷経費は、1部59円です